

2022年9月30日

各位

株式会社北洋銀行

2022年度「北洋銀行スポーツ応援事業(子どものスポーツ)」の 助成先を決定しました

北洋銀行は、北海道との包括連携協定の一環として、「子ども」ならびに「障がい児者^{*}」に重点を置き、道内のスポーツの発展と地域におけるスポーツの推進を目的とした「スポーツ応援事業」に取り組んでいます。このうち「子ども」のスポーツにおける助成先を決定し、公益財団法人北海道スポーツ協会(以下、北海道スポーツ協会)へ総額100万円の助成金を贈呈いたしました。

「子ども」のスポーツ応援事業では、北海道スポーツ協会との連携・協力のもと、小学生を対象に道内各地で実施される「スポーツ体験教室(チャレンジクラブ、トップアスリートチャレンジ)」に対し総額100万円の支援をしています。

当行は今後も、北海道と連携・協力し、北海道におけるスポーツの裾野拡大を目指していくとともに、当行のSDGsに係る重点取組テーマ「教育文化」の取組の一環として、地域社会への貢献に取り組んでまいります。

^{*}「障がい児者のスポーツ」は、公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会との連携・協力のもと、一般公募より選考した障がい児者のスポーツ活動に取り組む道内9団体へ支援を行うもので、2022年6月24日付で助成金を贈呈しました。

記

【2022年度「北洋銀行スポーツ応援事業(子どものスポーツ)」助成先一覧】

事業名	助成先	助成額	連携団体
チャレンジクラブ トップアスリート チャレンジ	北海道スポーツ協会 中標津町文化スポーツ振興財団(中標津町) さっぽろ運動あそびクラブ(札幌市) 標津スポーツクラブすぽっと(標津町) N-link(沼田町) わくわくピース総合型クラブ(北広島市) 幕別札幌内スポーツクラブ(幕別町) おにスポ(登別市) 和寒町スポーツ協会(和寒町)	100万円	北海道 スポーツ協会

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

【2022 年度助成先の詳細(子どものスポーツ)】

事業名	助成先	実施競技(予定)	対象
きたえる チャレンジクラブ	北海道スポーツ協会	コーディネーショントレーニング、スケート、剣道、バレーボール、ダンス、バスケットボール、カーリング、セパタクロー、タグラグビー、フットサル	小1～3
チャレンジクラブ (地域版)	中標津町文化スポーツ振興財団 (中標津町)	タグラグビー、ドッチビー、空手、バスケットボール、サッカー、スピードスケート ★走り方教室	小1～6
	さっぽろ運動あそびクラブ (札幌市)	サッカー、ドッジボール、ボッチャ、運動あそび、ダンス ★走り方教室	小1～3
	標津スポーツクラブすぽっと (標津町)	陸上、卓球、バスケットボール、バドミントン、スケート	小1～6
	N-link (沼田町)	陸上、サッカー、体操、ズンパ、バドミントン、雪合戦	小1～6
	わくわくピース総合型クラブ (北広島市)	モルック、ボッチャ、ドッジボール、ハンドボール、サッカー、ダブルダッチ、ソフトテニス	小1～3
	幕別札幌内スポーツクラブ (幕別町)	陸上、野球、新体操、トランポリン、モルック、ボッチャ、バドミントン、サッカー、スケート	小1～6
	おにスポ (登別市)	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、モルック ★走り方教室	小1～6
きたえる トップアスリートチャレンジ	北海道スポーツ協会	未定	小1～6
トップアスリートチャレンジ (地域版)	和寒町スポーツ協会 (和寒町)	野球、バスケットボール	小3～6

※走り方教室: 走り方をレッスンする教室を実施(★印: 開催予定)

【活動内容】

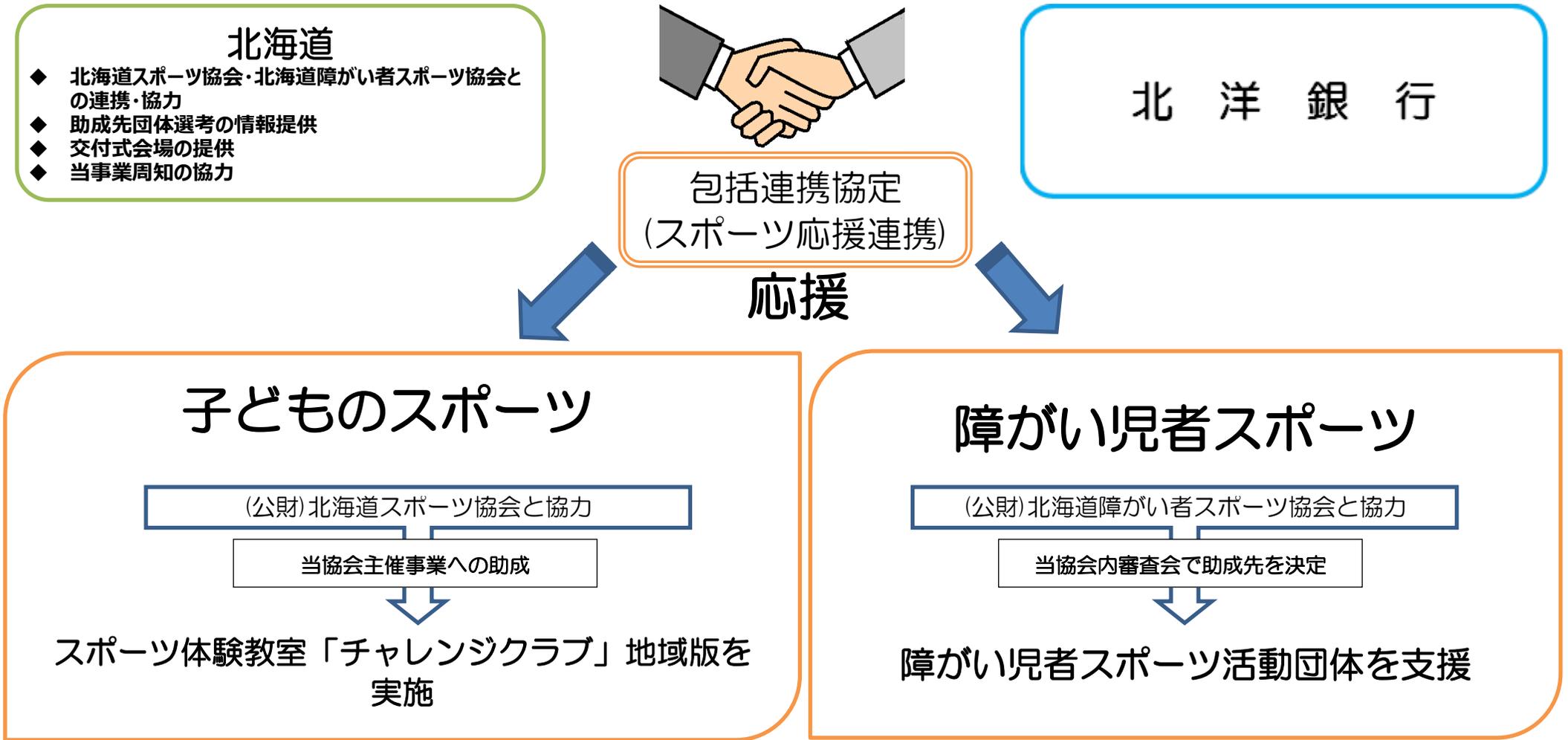
<チャレンジクラブ>

道内の子どもたちにスポーツを楽しむ機会を提供し、1年を通して様々なスポーツを体験する。

<トップアスリートチャレンジ>

世界・全国レベルの選手や指導者のもとで、1日で様々なスポーツを体験する。

北洋銀行スポーツ応援事業の概要



本件に関するお問い合わせ

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課 黒田 TEL:011-204-5209
北洋銀行経営企画部広報室 岸波 TEL:011-261-1317